
国際戦略経営研究学会
The International Academy of Strategic Management
NEWSLETTER VOL. 13 No. 1

2024/1/18

目次

1. 会長新年挨拶
2. 通常総会のご報告
3. 2023年度学会賞受賞者のお知らせ
4. 2023年度年次大会のご報告
5. 2024年度年次大会のご案内
6. 特別シンポジウムのご案内
7. 学会誌編集委員会からのお知らせ
8. 事務局からのお知らせ

1. 会長新年挨拶

国際戦略経営研究学会会員の皆様、新年おめでとうございます。良き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。この一年間が皆様と学会にとって素晴らしい年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。さて、2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限も、昨年5月に5類感染症に移行したことに伴い緩和され、人々の生活にもようやく以前の日常が戻りつつあります。学会の活動もこの間は様々な制約を強いられましたが、昨年後半からようやく本来の活動が行えるようになりました。

昨年9月には、4年ぶりとなる対面での年次大会が開催されました。他大学のキャンパスを訪れて自分の大学とは違う何か新しいものを発見できること、普段あまりお会いする機会のない先生方と休憩時間にさりげない歓談や意見交換を行えること、また会場や教室で講演者や発表者を前にして白熱した質疑を行えることなど、やはり対面開催ならではの大会の醍醐味を多くの参加者が感じたのではないのでしょうか。ただ昨年は懇親会の開催を見送るなど、いくつか慎重を期した措置がとられました。本来の開催形式に早く戻れることを期待しています。

また、昨年はいくつかの研究部会で対面形式での会合が復活しました。ただ、コロナ禍の期間中にオンライン開催が定着し、これによって会場から遠くにお住まいの会員、あるいは平日の夕刻まで職場で仕事がある会員にとって研究会への参加が容易になり、その便利さが認識されました。そこで対面形式での会合が行われる場合でも、このオンラインのメリットを活かしながらハイブリット形式での開催とし、参加者が会場に行くかオンラインで参加するかをその都合に合わせて選べるような工夫も行われるようになりました。オンライン参加者と会場参加者間のコミュニケーションの向上など運営上の課題はまだいくつかあると思いますが、ハイブリッド形式での研究会は今後も普及していくものと思います。

このような年次大会や研究部会の活動が平常に戻ることは、学会誌への論文投稿の活性化にも良い影響を与えることが期待されます。年次大会での自由論題の発表を研究論文に纏めて投稿し、研究会での一連の報告テーマを学会誌の特集号として企画する動きも生まれています。充実した学会誌の定期的な発行を維持していくためには、一定の論文投稿数を安定的に確保することが不可欠です。年次大会や研究部会の活動と連携して学会誌を充実させていくことは、学会の運営にとって極めて重要です。引き続き会員の皆様には積極的な論文投稿をお願いしたいと思います。

また本年は初めての試みとして、戦略経営のホットなテーマに基づいて、学会の枠を超えた産官学連携の特別シンポジウムを開催することも検討されています。当学会の特徴は企業や官庁にお勤めの実務家の会員比率が高く、大学教員・研究者と実務のプロフェッショナルが知恵を磨き合いながら実践知を学術知へ転換する機会が充実していることです。経営の第一線でご活躍の経営者や、政策立案を担っておられる官庁の方との議論を通して、

現実の経営の諸問題を多面的、総合的に分析しつつ、それを踏まえて新しい戦略理論の構築を試みる活動に繋げていきたいと思えます。

学会が会員に提供できる重要な価値の一つは、会員間の活発な交流の場を提供し、それによって研究に対する刺激やヒントが交錯し、新たな研究の機会が生まれることにあると思えます。この価値を高めていくためには、会員間のネットワークが質的にも量的にも拡充することが重要です。年次大会、研究部会、学会誌、シンポジウムなどの活動が充実することで学会の魅力が増し、それによって新たな会員の参画と会員間ネットワークの拡大に繋がる、本年一年がそのような年となることを期したいと思えます。会員の皆様には本年も積極的に学会活動に参加いただけますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

国際戦略経営研究学会 会長

安田 洋史

2. 通常総会のご報告

2023年9月16日、東京農工大学小金井キャンパスでの2023年度年次大会において通常総会を開催しました。議長として会長が選任された後、以下の審議、報告が行われました。同日昼、事前に開催された理事会で承認された審議事項についてはいずれも承認されました。

(1) 監事の選任（議決事項）

2023年1月23日開催の理事会承認に基づき、審議の結果、次の2名が監事として事後承認されました。

出口純輔氏、桑山三恵子氏

(2) 2022年度事業報告および決算案・監査報告（議決事項）

各委員会の委員長（担当常任理事）より事業報告が行われ、決算案（損益計算書、貸借対照表）が説明されました。続いて、監事より、2022年度決算案に関する監査報告が行われ、決算報告書は収入支出の状況及び財産の有り高を正しく示していることが報告されました。これを受け、事業報告および予算案が承認されました。

(3) 2023年度事業計画および予算案（議決事項）

各委員会の委員長（担当常任理事）による事業計画案および予算案（損益計算書）の説明の後、いずれも承認されました。

(4) 学会賞（報告事項）

審査委員長（会長）より、2023年度学会賞受賞者（著書部門：山崎京子氏，論文部門：折茂大樹氏・松田千恵子氏）の報告があり，表彰が行われた。

3. 2023年度学会賞受賞者のお知らせ

2023年度学会賞受賞者が次のとおり決定いたしました。2023年9月16日，東京農工大学小金井キャンパスでの2023年度年次大会・通常総会において受賞者発表と表彰が行われました。

学会賞（著書部門）

山崎京子氏

[対象著書]

山崎京子(2023).『個人と組織 不適合のダイナミクス—適合と不適合が牽引する外部環境適応』白桃書房.

学会賞（論文部門）

折茂大樹氏・松田千恵子氏

[対象論文]

Orimo,D., Matsuda, C.(2023). The Use of Performance Measures in Japanese Local Government: An Empirical Analysis of Impact on Budgets. *Journal of Strategic Management Studies*, 14(1), 1-15.

学会賞は，戦略経営に関する理論または実践について貢献するところが大きいと認めた本学会員を表彰し，本学会，及び戦略経営の理論と実践の発展をはかることを目的とし創設されました。戦略経営に関する理論または実践の発展に貢献するところが顕著であると認めた論文を執筆した，本学会員に論文部門賞を授与する学会賞（論文部門）と，戦略経営に関する理論または実践の発展に貢献するところが顕著であると認めた著書を執筆した，本学会員に同賞を授与する学会賞（著書部門）があります。

学会賞（論文部門）については，2022年4月1日より2023年3月31日までに刊行された“*Journal of Strategic Management Studies*”および『戦略経営ジャーナル』に掲載された査読論文を対象とし，審査委員会により審査を行い，受賞候補を選定し，最終的に常任理事会によって決定しました。

学会賞（著書部門）については，2022年4月1日より2023年3月31日までに刊行された本学会員による単著，共著（第一著者が本学会員であること）が対象で，学会員から自

薦または他薦されたものが候補でした。応募された著書について、審査委員会により審査を行い、受賞候補を選定し、最終的に常任理事会によって決定しました。

2024年度も引き続き、学会賞の選考を行います。論文部門は2023年4月1日より2024年3月31日までに刊行された“Journal of Strategic Management Studies”および『戦略経営ジャーナル』に掲載された査読論文が対象となります。また、著書部門については、4月以降に改めて自薦他薦の公募を案内いたします。会員のみなさまには、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4. 2023年度年次大会のご報告

国際戦略経営研究学会、2023年度年次大会が、2023年9月16日(土)、17日(日)に、東京農工大学、小金井キャンパスにて開催されました。同校に勤務されます林田英樹理事が、大会実行委員長を務めました。本会員の61名が学会に参加をされました。統一論題は、「Re-Japan Innovation Strategy」でした。

大会初日には、国際大学国際経営学研究科、教授である Yingying Zhang Zhang 氏が、「People Centric Innovation Ecosystem: Japanese Management and Practices」というタイトルで英語のキーノートスピーチをされました。

2日目には、株式会社レゾナック・ホールディングス(元昭和電工)代表取締役会長である、森川宏平氏が、「レゾナックが語る再び興せ『日本発世界初のイノベーション』で社会を変える」というタイトルで日本語による基調講演をされました。

基調講演以外に、20の自由論題報告、1企画セッション、1パネルセッションが行われました。

今回は、これまでと異なり、Peatixに基づいて作った大会のポータルを通じて、大会参加の申し込み、参加の支払い、Dropboxからの報告原稿の投稿が行われました。今回は、2019年の年次大会以来の対面の開催となりました。残念ながら懇親会は予定をされていませんでしたが、大会の初日の後はインド料理店にて、最終日のあとは居酒屋で、アドホックな懇親会が開催され、懇親の場をもつことができました。

報告者の皆さんだけでなく、司会をお引き受け下さいました会員の皆様にお礼を申し上げます。

大会企画運営委員会委員長・常任理事

咲川 孝

2023年度大会実行委員長・理事

林田 英樹

5. 2024 年度年次大会のご案内

2024 年年次大会，国際戦略経営研究学会につきましては，以下のようにして予定をして，準備をしています。

統一論題テーマ

苦境を乗り越える，日本流経営哲学の再考（仮題）

Managing unprecedented events: Reflecting on Japanese management philosophy (tentative conference theme)

テーマの趣旨（仮案）

21 世紀も四半世紀を過ぎようとしています。私たちは 2015 年に理想の未来を SDGs に描き，平和で幸福に満ちた新しい世界の創造に向けて協力しあうことを宣言しました。しかし目の前の現実には戦争で分断され人権が踏みにじられ，気候変動，感染症の蔓延など，世界は悪化の方向に向かっているように見えます。

このような背景から，次の大会のテーマとして，この苦境を乗り越えるために，日本の経営思想・哲学への原点回帰を提案したいと思います。私たちはかつて明治維新や戦後の復興期などを見事に乗り越えてきました。予測のつかない波乱・激動の時代を生きぬくためのヒントは私たち自身の奥深くにあると信じます。

会場

桜美林大学 新宿キャンパス

日程

後日発表

大会企画運営委員会委員長・常任理事

咲川 孝

2024 年度大会実行委員長・理事

宮本 文幸

6. 特別シンポジウムのご案内

本学会では、今年度に特別シンポジウムの開催を企画しています。

テーマは、「産官学連携によるリスキリング・エコシステムのあり方（仮称）」です。昨今、日本の成長戦略において三位一体の労働市場改革が重要テーマになっていますが、リスキリングやリカレント教育など日本における成人教育を進めるうえで、産官学の連携によるエコシステム、そこにおける学の果たす役割が益々大きくなって参ります。

そこで本学会では、本学会に関連するアカデミアの方々を母体に、産業界、政府関係者の関係者をお招きして、公開シンポジウム開催を検討しております。

詳細な日程は企画中ですが、2024年8月下旬の平日午後での開催を予定しております。また決まり次第ご連絡いたしますが、学会会員の皆様には奮ってご参加を頂きたく、宜しくお願い致します。

7. 学会誌編集委員会からのお知らせ

本学会では、英文ジャーナル“Journal of Strategic Management Studies”と、和文ジャーナル『戦略経営ジャーナル』をそれぞれ発行しております。どちらも査読付論文、査読付研究ノートなどで構成されています。本学会の学会誌の特長として、いつでも投稿が可能であることと、英文ジャーナルについては査読段階では日本語で執筆した原稿を投稿した後に、査読通過後に英文化することも可能な点が挙げられます。会員のみなさまからの積極的な投稿をぜひお待ちしております。

なお、本学会の学会誌の査読は、ダブルブラインド方式を採用しています。投稿者の希望も加味した（希望するチーフ査読者をリストの中から第1希望から第3希望までお選びいただきます）うえで、「チーフ査読者」（シニア・エディター）を決定し、「チーフ査読者」（シニア・エディター）が2名の査読者に査読を依頼します。

学会誌に関するお問い合わせは、下記のメールアドレスにお願いいたします。随時、学会誌編集委員会よりご回答いたします。

editor@iasm.jp

8. 事務局からのお知らせ

(1) 会費納入のお願い

日頃より学会活動にご尽力いただきありがとうございます。学会活動は会員の皆様の会費がベースです。皆様には、本年度の学会費納入をお願いいたします。

会費を3年間滞納した場合には会則第8条第4号に基づいて会員資格が失われます。

以上をご留意の上、早期の会費納入につきましてご協力をお願いいたします。

年会費は正会員 8,000 円，準会員（学生） 5,000 円です。指定口座は次のとおりです。

銀行名 : ゆうちょ銀行 口座番号 : 00120-3-585264

口座名義 : 国際戦略経営研究学会

なお、会費納入に当たっては必ずフルネームをご記入下さい。特に校費等で振込を行う場合など、大学から学会宛に直接振り込みが行われる際にはご注意ください。

(2) 住所等変更の際のご連絡のお願い

所属・ご住所・メールアドレス等を変更された方は、速やかに学会事務局までご連絡ください。準会員で入会された方も、学生の身分を離れた場合には正会員になりますので、学会事務局までお申し出下さい。

(3) 活気溢れる学会運営のため、お知り合いの方に是非当学会への入会をお勧め下さい。

ご不明の点がありましたら、下記学会事務局までお問い合わせください。

#####

国際戦略経営研究学会 (IASM)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

電話 03-6824-9369・FAX 03-5227-8631

平日 9:00～12:00 13:00～17:00(土日・祝日を除く)

iasm-post(at)bunken.co.jp (at)の場所に@をお入れください)

#####